

令和 6 年度熊本県保健医療推進協議会報告

参加：木村浩美

日時：2025 年 1 月 24 日 金曜日 14 時～15 時 30 分

場所：県庁防災センター

<議題内容>

1. 第 8 次熊本県保健医療計画について (2024 年～2029 年)

基本目標 県民が地域で安全・安心に暮らし続けられるための
持続可能な保健医療体制の構築

基本項目 柱 1 生涯を通じた健康づくり
柱 2 地域でいつまでも安心して暮らせる保健医療の提供
柱 3 地域の保健医療を支える人材の確保・育成
柱 4 地域における健康危機への対応

2. 令和 6 年度の取り組み等

柱 1 ①くまもとスマートライフアプリを活用したウォーキングキャンペーンの開催
②教育者に向けた食育・喫煙・飲酒防止教育の研修実施と、
児童・生徒への出前講座の実施

③「くま食健康マスター店」「ブルーサークルメニュー提供店」の拡充と啓発

柱 2 ①外来医療において、18 医療機関を紹介受診重点医療機関として選定
②地域の実情を踏まえ、合計 70 人の医師を地域の医療機関へ派遣
③メディカルネットワークへの県民登録者が 13 万 9 千人（R6. 12）となった
④5 疾患（心血管疾患・DM・がん・脳卒中・精神疾患）と認知症、難病、
アレルギーについてもそれぞれ拠点や専門医療機関と協力し活動する
⑤6 事業（在宅医療・救急医療・災害医療・新興感染症・へき地医療・
周産期医療・小児医療）については、各専門職や団体と体制強化に向けて
研修や支援を行う

柱 3 ①大学病院に入局する医師の減少、特に 35 歳以下の医師が少なく将来への不安
②へき地では歯科医師も高齢化が進み、閉院している

柱 4 ①九州・山口各県健康危機管理連携会議の開催や D H E A T の研修派遣

3. 評価指標で後退したもの（*関係あるものを抜粋）

- ・臓器移植院内コーディネーター研修の受講率
- ・「私のカルテ」新規年間導入件数
- ・熊本地域糖尿病療養指導士数
- ・精神疾患の入院後 1 年時点の退院率
- ・認知症疾患医療センターの外来新規数及び相談件数
- ・救急搬送された患者のうち軽症者の割合
- ・乳児・小児の死亡率
- ・県内出身看護学生の県内就業率、病院新卒者離職率、ナースセンターによる再就業者率
- ・H I V 感染新規報告件数に占めるエイズ患者の割合